

【資料1】

令和7年度 阪南市市民協働・共創事業提案制度 継続実施状況

事業の名称	団体名称	事業担当課	事業内容	初年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
				実績	実績	実績	実績	今後の事業展開等
1 放課後の子どもの居場所事業	特定非営利活動法人子どもNPOはらっぱ	生涯学習推進室	子どもたちがありのままの自分であらわれ、休息を取り戻し、自由に友だちと遊び、安心して人間関係を作りあうことができる「子どもの居場所」を地域に確保し、存続させることを目的として、平日の放課後、3会場(ふれあいホーム・尾崎公民館・西鳥取公民館)において実施する。	<平成26年> ・東鳥取会場(毎月月曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年49回実施 ・尾崎会場(毎月水曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年49回実施 ・西鳥取会場(毎月金曜日15時～17時・長期休業中13時～17時)年49回実施 ・3会場全体交流会年4回実施(長期休業中)	毎週月曜日・金曜日 午後3時30分～5時(夏季休業中は午後1時～5時) 毎月1回土曜日午後3～5時 夏季休業中の水曜日 午後1時～5時 土曜日午前10時～12時(不定期) ふれあいホーム・東鳥取公民館・西鳥取公民館 市内小学校体育館 年間1,400～1,500人が参加	毎週月曜日・金曜日 午後3時30分～5時(夏季休業は午後1時～5時) 毎月1回土曜日午後3～5時 夏季休業中の水曜日 午後1時～5時 土曜日午前10時～12時(不定期) ふれあいホーム・東鳥取公民館・西鳥取公民館・市内小学校体育館 年間1,400～1,500人が参加	毎週月曜日・金曜日 午後3時30分～5時(夏季休業は午後1時～5時) 毎月1回土曜日午後3～5時 夏季休業中の水曜日 午後1時～5時 土曜日午前10時～12時(不定期) ふれあいホーム・東鳥取公民館・西鳥取公民館・市内小学校体育館 年間1,400～1,500人が参加	・利用している子どもたちの声から、居場所をどうすれば居心地のよい場所になるのか一緒に考え、ニーズに合った居場所づくりへとつなげていき、安心、安全な居場所となるようにさらに充実を図る。そのために、阪南市の子どもの現状を把握し、子どもたちからの声を行政に届けられる橋渡し役となり、行政、学校、地域と連携し居場所への理解と協力を求め、阪南市の子どもたちの健やかな成長へとつなげていく。 ・多くの人に子どもの居場所「キッズはらっぱ」の存在となぜ居場所が必要なのか理解を求め、子どもに適した安心安全なあそび場、人材確保について引き続きアピールしていく。 ・土曜日午前の小学校開設を継続していくためにも、学区の地域の方、保護者、学校(先生方)にも理解と協力を求める。 ⇒継続
2 阪南市フレンドシップコンサート	阪南市吹奏楽団	学校教育課	市内中学校の吹奏楽部への技術支援を通して、教育環境の活性化と青少年の健全育成を行う。文化センターでの大規模なコンサートだけではなく、地域や学校で現在行われている吹奏楽部のコンサートでの阪南吹奏楽団との合同演奏も視野にいれ、地域に根差した音楽のあるまちづくりをめざす。	<平成26年> 【支援回数】 貝掛中学校 3回(7月) 鳥取東中学校 2回(6月、7月) 飯の峯中学校 2回(6月、7月) 【合同演奏会】 平成26年12月21日(日)桃の木台自治会主催「光のページェント祭 クリスマスコンサート」(飯の峯中学校吹奏楽部)	市内中学校の吹奏楽部への技術支援を実施した。 【技術支援】15回 飯の峯中学校 6回 4月17日・5月11・16日・6月5日・12日・7月5日 ○鳥取中学校 1回 7月14日 ○貝掛中学校 3回 7月23日・12月8日・10日 ○飯の峯中学校 1回 1月26日 ○鳥取東中学校 4回 5月20日・6月15日・7月8日・3月9日 【その他】 ・吹奏楽コンクール南地区大会 金賞受賞 鳥取東・貝掛中学校	市内中学校の吹奏楽部への技術支援を実施した。 【技術支援】10回 ○鳥取中学校 4回 ○貝掛中学校 3回 ○鳥取東中学校 3回 7月をレッスンの集中期間にしたので、7月末に開催された大阪府吹奏楽南地区大会では、貝掛中学校と鳥取東中学校がそれぞれ金賞、鳥取中学校が銀賞を受賞されました。	市内中学校の吹奏楽部への技術支援を実施した。 【技術支援】9回 ○鳥取中学校 3回 7月19日、7月30日、7月31日 参加人数15名 ○貝掛中学校 2回 7月5日、7月18日 参加人数10名 ○鳥取東中学校 4回 7月6日、7月11日、7月21日、2026年1月18日 参加人数12名	中学生の頃から吹奏楽や楽器に触れる事により、生涯を通じて演奏を続けようとする人材を育成したいと考えている。また、阪南吹奏楽団の団員の方々には指導していただく事で、中学校の吹奏楽部員がスキルアップしている事を実感しており、本事業については継続したいと考えている。ただ本来の目的は市内中学校との合同演奏会であり、予算額0円では、ホールでのコンサートの開催は不可能である。行政機関やホールなどの協賛事業でない演奏会を開催するのは厳しいと考える。 ⇒提案事業以外で今後も協働事業として継続
3 男里川水系一斉清掃行動	男里川水系環境保全活動実行委員会	河川農水課	男里川水系の環境保全を学習するため、阪南市の地域の皆さんと男里川水系環境保全活動実行委員会や大阪府、阪南市の関係機関が協力し、1年間を通じて、「水辺の観察会」や「水辺の学校活動」、「環境・美化啓発ポスター募集」、「男里川(山中川・うど川)水系の清掃活動」などを実施する。	<平成26年> 8月中旬頃 観察会等に関する活動について 8月下旬頃 水辺の学校活動について 9月～12月 環境・美化啓発ポスター募集について 2月21日 男里川(山中川・うど川)水系の一斉清掃活動について	○夏休み親子水生生物観察会 日 時 令和5年7月15日(土) 参加者 市民47名 ○男里川水系の環境啓発ポスター募集・カレンダー作成 期 間 夏休み 参加者 200名 ○男里川水系、水辺の学校 日 時 令和5年9月22日(金) 参加者 尾崎小学校4年生 38名 ○男里川水系一斉清掃 日 時 令和6年2月17日(土) 参加者 市民等77名	○夏休み親子水生生物観察会 日 時 令和6年6月21日(土)10時～12時 参加者 阪南市民約50名 ○男里川水系の環境啓発ポスター募集・カレンダー作成 期 間 夏休み 参加者 阪南市内の小・中・高校生約200名 ○男里川水系、水辺の学校 日 時 令和9月19日(金)10時～12時 参加者 尾崎小学校4年生 約40名 ○男里川水系一斉清掃 日 時 令和8年2月21日(土)10時～12時 参加者 阪南市、泉南市の市民、行政職員約80名	○夏休み親子水生生物観察会 日 時 令和6年6月21日(土)10時～12時 参加者 阪南市民約50名 ○男里川水系の環境啓発ポスター募集・カレンダー作成 期 間 夏休み 参加者 阪南市内の小・中・高校生約200名 ○男里川水系、水辺の学校 日 時 令和9月19日(金)10時～12時 参加者 尾崎小学校4年生 約40名 ○男里川水系一斉清掃 日 時 令和8年2月21日(土)10時～12時 参加者 阪南市、泉南市の市民、行政職員約80名	・男里川清掃活動:参加者を増やすためにどうすればいいか、役員で考える。広報紙や回覧板でのPRだけでなく、個人的なつながりや、他の市民活動とのつながりなどを通じ参加者を増やす。 ・啓発ポスター:より大勢の子供達にポスターを描いてもらえるようにするかよく考える。インスタグラムに投稿したが、それをみんなに見てもらう方法を考える。ポスターを無料で配っているが、財源が少ないので別の方法を考える。 ・水辺の学校:尾崎小学校の4年生を対象とし、小学生に環境の大切さを伝える。 ・親子観察会:親子の参加を増やし、及び熱中症対策のため、夏休みの前の6月に実施。 ⇒提案事業以外で今後も協働事業として継続
4 子どもの声を聴き共有するラウンドテーブル(円卓会議)事業	特定非営利活動法人子どもNPOはらっぱ	学校教育課	子どもたちが安全・安心に暮らせる、笑顔あふれるまちづくりを実現するために、行政との情報共有の関係づくりをすることで、子どもの現状や子どもの周りで起きている問題・社会課題の解決を図っていく。	<平成27年> ・学期ごとにラウンドテーブルを開催(提案団体、学校教育課、生涯学習推進室、こども家庭課) 平成27年7月1日 平成27年12月16日 平成28年1月28日 上記の他、毎月、提案団体と各担当課で情報共有	ラウンドテーブルの開催 日 時 ①令和5年9月6日 ②令和5年12月18日 対 象 NPOはらっぱ、学校教育課、生涯学習推進室、こども政策課 参加者 13名 内 容 NPOと各課(室)の取組などの共有	ラウンドテーブルの開催 日 時 令和6年9月4日 対 象 NPOはらっぱ、学校教育課、生涯学習推進室、こども政策課 参加者 13名 内 容 NPOと各課(室)の取組などの共有	ラウンドテーブルの開催 日 時 ①令和7年7月30日(水) ②令和8年1月に第2回開催 対 象 NPOはらっぱ、学校教育課、生涯学習推進室、こども政策課 参加者 11名 内 容 NPOと各課(室)の取組などの共有	当初の目的であった「子どもの声を聴くおとな養成講座」開催へ協働に向けての情報交換の場であったことを確認しつつ、これからの方向性を一緒に考える場にした。それぞれ立場や所管する施設等の取組、子ども達の様子等を交流して共有できたが、市の子ども達が持つ課題に対してどのように関わっていくのかや取組を進めるのかということまでは話せていない。今後、これまで同様の情報交換をしつつ、「子どもの権利」の啓発・普及のために、団体の強みを活かした協働事業を展開していきたい。 ⇒提案事業以外で今後も協働事業として継続

事業の名称	団体名称	事業担当課	事業内容	初年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度 今後の事業展開等
5 野外活動広場 (桜の園)管理運営事業	ボランティア桜の園の会	生涯学習推進室	桜の園の運営及び維持管理を行う。 公の公園施設として、色んな目的で来られた市民が堪能して安全に帰って頂けるよう、毎日の見回りや道路・設備の点検・早めの対応をしていく。山・池・川・樹木・鳥・植物等豊かな自然を活用し「また来たい」と抱くような雰囲気を出していく。	<令和5年度> 桜の園の施設運営・管理等を行う。 トイレ・炊事場・かまどの清掃、草刈、枝切り、給水施設への水の搬送、林道の補修等 見回りによる利用者確認 テント数293件、利用者808名 一斉草刈り 年4回 消毒 年3回 道路の掃除と整備 ミニフェスタ 2回 塩づくり体験 ※ハイキングは雨天のため2回とも中止	同左	桜の園の施設運営・管理等を行う。 (トイレ・炊事場・かまどの清掃、草刈、枝切り、給水施設への水の搬送、林道の補修等) 例年行っている大福山ハイキングに加え、新たに一人参加の「ぼっちキャンプ」を広報で募集し、実施しました。参加人数は10名弱と多くはありませんが、このような呼びかけをきっかけに初めて宿泊キャンプに参加し、ライフスタイルが広がったという方もいらっしゃいました。 また、令和6年の3月には市と共同で、ヤマザクラを5本植樹。 [令和6年度利用件数] テント数211件、利用者917名	桜の園の施設運営・管理等を行う。 (トイレ・炊事場・かまどの清掃、草刈、枝切り、給水施設への水の搬送、林道の補修等) 第2回ぼっちキャンプ また、令和6年の3月には市と共同で、ヤマザクラを5本植樹。 市民活動センター展示 井関川から男里川 川の生き物シリーズを展示。15cmのウナギやマハゼ・ゴクラクハザ・ヌマチチブ、クロホシマンジュウダイの稚魚等を展示。	あそこに行けば何か学んで帰ってくる事が出来る。何か楽しかったなあ、また来よう、という思いを抱いて帰路につける。そんな材料の提供が必要かなと思います。井関川にはウナギやギギ・ドンコや外来種のブラックバス・ブルーギル、トンボのヤゴや希少なランや珍しい花が沢山あります。日帰り・宿泊を通じて多様な経験に接することが出来る、観察としてもカリキュラム化されている等参加のためのモチベーションアップが欲しい。 ① 桜の園 ハンドブックの編集 ② ハイキングコースの紹介 ③ 鳥取池の安全な活用 ④ 歩いて連続した宿泊を伴うキャンプの経験 ⑤ 伐採から新作りで自主財源を。伐採できる山林の紹介。 維持運営のための自主財源について、①現在、園内で自炊・ファイヤー用の薪を無人販売し運営に活用、②府民の森100選になっている桜の園、来園者に負担の少ない形で出来るだけ多くの方に楽しんで頂ける方法は何か？ 今後、駐車場・トイレの有料化・クラウドファンディング等、検討していくことも必要かと思われる。有料であれば行くのを止めておこうとならない策が必要 ⇒継続
6 はんなん海の学校事業	特定非営利活動法人 大阪湾沿岸域環境創造研究センター	中央公民館	市と連携して「はんなん海の学校」を創設し、学びの機会を学齢期の学校教育の場だけでなく、社会教育として若年層の市民を中心にさらに広範な人の手を取り組んでいくことで、多くの市民の郷土愛を育むとともに、自ら主体的に地域課題に関わる人材の育成を図ることを目的とする。	<令和6年度> 計12回の講座を開講。R6/2末時点で11回終了しており、生徒としては累計84名が参加。 1月の学習会では、1年間のまとめとして、「学んだこと」「気づいたこと」「どうしていきたいか」などを整理した。3・4月の学習会では、学んだことを広めるためにどうしていくか、自分たちが海に何が出来るかなど、子どもたちから大人への提言としてまとめの作業を予定している。(大阪関西万博で報告) *活動内容満足度 80%(5点 5段階評価)20%(4点、5段階評価)		同左	市と連携して「はんなん海の学校」を創設し、生徒を募集して海洋教育事業を実施。 【活動】 大阪関西万博での成果報告会・シンポジウム 5/10 生き物調査、海の安全教室、カキ養殖作業体験、地産地消学習 学習会 4回 8/3、11/9、1/18、3/15 生徒企画イベント 2回 9/14、10/26	・本事業は、小学校で海洋教育を学んだ中高生が輝き続ける場として、また、若年層の発想や企画・運営力を活かす場としての一面があります。3年間の事業が終了した後も、そこで育った人材がまた核となって活躍するという持続可能な取組となるような体制づくりをめざします。 そのため、今年度より、これまでの参加する側から自分たちが企画運営する側の視点に立った研修や生徒自主企画イベントの運営等の活動も取り入れ、生徒のステップアップを図ってきました。 地域に根ざした持続可能な海洋教育へ 【阪南モデル】を全国へ 小学校の海洋教育⇔はんなん海の学校⇔ブルー・エコノミー ⇒提案事業以外で今後も協働事業として実施
7 コミバスで行くはんなん探訪	阪南まちおこし夢テラス	生涯学習推進室	市民が阪南市の魅力を見直すため、身近にある自然や史跡・社寺・石仏・伝承・グルメなどに触れる機会や情報を提供することを目的とする。 具体的には、コミュニティバスを活用して少人数でも気軽にはんなん探訪ができるよう、わかりやすいパンフレット・チラシを提供する。	<令和6年度> ①打合せ 計7回 [場所]阪南市市民活動センターほか [内容]プランの企画検討 ②現地確認 計10回(年度内残り2回予定) [場所]市内各所 [内容]プランの現地確認 ③その他 会員各人が、各プランで紹介する文化遺産などの原稿作成などを行った。		同左	①打合せ 〔日程〕6/4、7/2、8/6、9/3、10/1、11/5、12/3、1/7、2/4(予定)、3/4(予定) 〔場所〕阪南市市民活動センターほか 〔内容〕まちあるきパンフレットおよびモニターツアーの企画・検討 ②モニターツアーの実施 〔日程・場所〕阪南市内の6コース(詳細は別添1参照) 〔内容〕企画のブラッシュアップを目的に、企画したコースのうちの6コースでモニターツアーを実施。 ③パンフレットの内容充実 〔内容〕モニターツアー参加者からの意見を集約し、パンフレット原案へ反映させた。	コースの策定と意見集約にかなりの時間を要したため、内容の精査を十分に行えなかった。次年度は、関係団体などとの意見交換を行い、内容の充実を図りたい。 団体との調整(特に意思決定)に時間がかかり、担当者の負担が多いと感じた。次年度は、団体のどの方向性のすり合わせを丁寧に行うことで、調整の円滑化を図りたい。 市民から「まちの魅力をもっと知りたいが機会がない」との意見があった。これを解消するための効果的な方法を、団体と行政で検討したい。 次年度は、パンフレットの活用促進を自立的に実施する主体(個人、団体、店舗など)を複数育成したい。これにより、事業終了後は、市民・団体がパンフレットを用いた事業を主催し、行政はこれを支援する体制の構築を目指したい。 ⇒継続